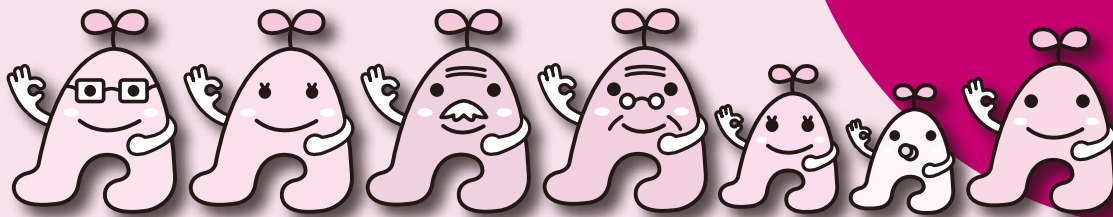


無駄なく循環！適切な分別で生まれ変わる「古紙」

問い合わせ）環境都市推進課 ☎(888)5708

6月は 環境月間



紙類を分別して、ごみ袋を
ワンサイズ小さいものへ！



30リットルのごみ袋から
古紙を分別してみると...



20リットルのごみ袋に入
れることができました！

家庭ごみとして捨てられてしまっている、牛乳パックやお菓子の箱、ラップやトイレットペーパーの芯…。これらは、捨てればごみとなってしましますが、分けて古紙として出すことで、資源としてリサイクルができます。分別することで、家庭ごみ用袋の節約にもなり経済的です。家庭でも職場でも、今日から分別に取り組んでみましょう！

市では、年4回、家庭から出たごみの内容を調べるため、組成調査を行っています。令和4年度は家庭ごみの10.72%はリサイクルできる古紙類でした。これは、家庭ごみの年間排出量約5万5千トンに置き換えると、約5千900トンがリサイクルできる古紙類だった計算になります。

リサイクルできる古紙が大量に...



その紙、分ければ
リサイクルできます！

雑がみ分別の
ポイント



大きさがバラバラな雑がみは、使用済みの紙袋や封筒に入れておいて、たまったら最後に紙ひもで縛って出すと便利です（取っ手がビニールの場合は外してください）。

*↓の先は、リサイクルされるもの。



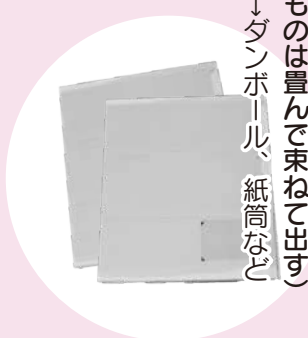
■紙パック（水洗いし、切り開いて乾かしてから束ねて出す）
↓トイレットペーパー、ティッシュペーパーなど



■新聞・ちらし（雑誌、雑がみは混ぜない）
↓新聞、雑誌、コピー用紙など



■雑誌・雑がみ
↓お菓子の箱、絵本など



■ダンボール（開いて、大きいものは畳んで束ねて出す）
↓ダンボール、紙筒など

秋田市の古紙の分別は次の4種類です。古紙は、それぞれの種類ごとにリサイクルされるものが違います。分別せず、さまざまな種類の紙が混入すると、生まれ変わった紙の品質が低下してしまいます。そのため、各家庭で種類ごとに分けることで、効率的なりサイクルにつながります。古紙を出すときは、紙ひもでそれぞれの種類ごとに束ねてください。

古紙の分別は4種類！古紙の分別方法